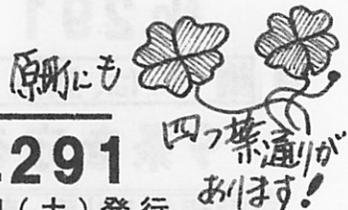


○ネット **はらまち九条の会** 検索「会報」で、全会報がご覧になれます。



九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 **No.291**
2016(平成28)年10月29日(土)発行



■ **はらまち九条の会** は、戦争放棄の憲法第9条を護って「戦争をしない国・日本」をめざし、支持政党や主義主張を問わない自由な市民の会です。どなたでも、どこに住んでおられようと会員になれます。匿名でもけっこうです。■結成は2005年12月。年会費千円。会員は南相馬市原町区を中心に428名。他市町村に避難中の会員も多い。■東日本大震災後、「事故の福島第一核発電所(原発)に世界一近い南相馬市の“九条の会”」を自覚し、「日本国憲法の間接的起草者の憲法学者鈴木安蔵のふるさとの“九条の会”」を誇りに活動しています。



総会・映画会を開催

ご出席お疲れさまでした



- ◀ 10月23日午後1時からの総会のようす。出席者60名。会場は南相馬市立中央図書館マルチメディアホール。午後2時から同会場で、『日本と原発・4年後』の映画会。約80名の参加でした。

平田慶肇会長あいさつ 今年の「憲法」配布の陳情が 今年5月に実現

本日は植樹祭などある中、お集まりいただきありがとうございます。はらまち九条の会も2005年12月に発足し11年。この間、様々なこと、特に東日本大震災と津波、それに加えて福島第一原発の爆発事故がありました。犠牲になられた方々には哀悼の誠を捧げます。(受付に事故原発の写真を展示)

それに放射能被曝を余儀なくさせられた人、避難させられた人、自主避難の人など、苦しんでおられる方がまだたくさんいます。国は早く収めたいようだが、いまだ1から3号機の様子が分からないまま放射性物資を出し続け、汚染水対策も失敗でまだまだ不安な状態にあります。モリタリングポストによる公表の放射線量なども信用してよいものか疑問です。

でも良いニュースとして、私たち九条の会が昨年2月に市議会に陳情した『日本国憲法』冊子の市内全戸配布は今年5月に実現し、本会の一大業績として自慢してもよいことと考えています。

でも、現在の安倍政権は、戦前の様相を呈したように、次々と法案を強行採決し戦争の準備を進めているような感じを受けます。そして緊急事態条項を手始めに憲法改定も考えていて、今後も正念場を迎える政治状況の中、会員の皆様の活動へのご協力を切にお願いいたします。



▲挨拶する平田会長

桜井勝延 南相馬市長(会員)ごあいさつ 若い人に憲法を読んでほしい

総会開催おめでとうございます。皆さんのご要望で5月の憲法記念日に『憲法』冊子を全世界帯に配布しましたが、全国でもあまり例がないようで、朝日やNHKなどから取材を受けています。現憲法は小高区の憲法学者鈴木安蔵などが作成した草案がGHQに評価され、現憲法に採り入れられもので、敗戦の結果から生まれた憲法であることを伝えることも重要です。意外と自分たちの生活を支えている憲法を読んでいない人も多く、特に若い人たちに憲法を勉強してほしいと思う。今南スーダンへの自衛隊派遣は不安です。震災後5年で、嘆くばかりでなく若い人や人材をどう育てるかが課題です。

■ **議事** は、議長 浜名紘隆さん、議事録署名人 浜名弘美さんで進められました

9条を守るため 継続的に活動を行っていきましょう

活動報告と計画・事務局長早坂吉彦より

○昨年の総会で「政治の動きに早急な対応を」との

ご意見がありましたが、十分に動かなかったことにお詫びします。○1月の成人式の『憲法』手配りは今年2016年で9年目になりました。来年1月の成人式は市当局が新成人に『憲法』冊子を配布するので、本会としては「憲法を読もう!」のようなチラシなどを配ろうかと検討中です。○市議会へ『憲法』冊子の配布を陳情して実現したことについて、NHKや新聞社から取材を受け、それぞれ報道されています。

2015年度 はらまち九条の会 会計監査報告

2016年10月13日、「はらまち九条の会」の会計監査を実施し、出納帳・預金通帳・各種伝票類を監査の結果、いずれも適正かつ正確であることを認めます。

2016年10月13日

監事

高橋美加子

印

監事

大槻千鶴子

印

2016年度 はらまち九条の会 予算

2016年1月1日～12月31日

【収入の部】

収入総額 ¥782,352
支出総額 ¥782,352

費目	2015年度予算額	2016年度予算額	増減	備考
会費	442,000	434,000	-8,000	会費 会員434名
雑収入	1,000	1,000	0	寄付・冊子販売・利子
繰越金	601,502	347,352	-254,150	
合計	1,044,502	782,352	-262,150	

【支出の部】

ただし、会長の了解あるときには
費目間の流用をみとめる。

費目	2015年度予算額	2016年度予算額	増減	備考
事業費	500,000	300,000	-200,000	
事務通信費	400,000	400,000	0	
会議費	50,000	50,000	0	
予備費	94,502	32,352	-62,150	繰越金
合計	1,044,502	782,352	-262,150	

質疑応答・その他

○総会時の事務局答弁に補足しています。ご了承ください。

<Aさんより> 「年配の会員が多い。若い会員を増やしたいものです。」

事務局より 「切実なことで、事務局でもいろいろ働きかけをしているがなかなか増えません。一方でシールズのような若者の新しい組織も出来ていて希望を感じ、さらに工夫します。」

<Bさんより> 「今の安倍政権や政治の背後に“日本会議”という右翼の組織がある。日本を戦前のような時代に戻ることを願い活動する危険な組織で、大変不安を募らせている。九条の会としての見解や、会として何か出来ることはないか。」

事務局より 「確かに“日本会議”は、私たち九条の会の趣旨とは正反対の組織です。本会としては、会報の冒頭に示してある会の趣旨にのっとり、憲法9条を守るための発信を続け、特定の組織への対応は現在は考えておりません。」

<Cさんより> 「私ははらまち九条の会がどういう位置付けか、孤立しているようで、もっと市民にアピールする必要があると思っています。たとえば、他の九条の会と一緒に、”ティッシュペーパー”などを配布して訴えるのも一方法だと思います。」

事務局より 「九条の会は2004年の呼びかけから全国に拡大し、現在では全国に7500、福島県にも108のグループができ、憲法9条を守るため、それぞれ連携したり独自の活動を行っています。本会も関東や県内の九条の会ともお互いに連絡し協力しあって活動していて、決して孤立はしていません。でも、さらに拡大のため努力します。“ティッシュペーパーの配布”のアイディアなど、ありがとうございました。事務局会でさらに検討します。」